

広報



愛衛協



発行

愛知県衛生事業協同組合

〒460-0008 名古屋市中区栄 4-3-26 昭和ビル TEL 052-241-7692

令和8年新年名刺交換会

- 1. 日 時 令和8年1月22日(木)午後5時開会
- 1. 会 場 名古屋東急ホテル3階「バロックの間」
- 1. 出席者数 133名

当組合恒例の新年名刺交換会を開催いたしました。



【理事長 新年のご挨拶】

皆様、新年明けましておめでとうございます。

新しい年を迎え、公私共にご多忙の中、ご臨席を賜り多くの組合員の皆様をはじめ、ご来賓、関係団体、賛助会員の皆様と一堂にお会いすることができ、心より御礼申し上げます。

さて、昨年 2025 年は、昭和 100 年、戦後 80 年という、日本の歩みを振り返る上で、大きな節目となる年でありました。

また、地震などの自然災害や火災事故も多く、私達は改めて、安全や安心、そして社会を支える仕組みの重要性を強く意識する一年であったように思います。

戦後日本は、昭和、平成の時代を経て、大きな発展を遂げてまいりましたが、一方、令和では諸物価の高騰、人口減少や人材不足、災害の激甚化など、私達を取り巻く環境は、依然として厳しいものがあります。

そうした中、組合員の皆様は長年に亘り、いかなる状況下においても、地域の公衆衛生の向上と生活環境の保全に日々努め、住民の快適な生活を確保するために努力してまいりました。

改めまして、令和 8 年、新たな一年が始まりました。本年は、午年で「8」の年であり、その形は無限の輪を思わせ、挑戦や取り組みが絶え間なく連鎖して躍進する年を象徴しております。

変化のスピードが益々加速する今の時代に、愛知県においては、昨年よりIGアリーナやステーションAIの開設、カーボンニュートラルやインフラ整備など多くの課題に取り組んでおります。

特にサーキュラーエコノミーについては、プラスチックや太陽光パネル等の資源の有効活用に取り組むプロジェクトが進んでおりますので、我々も協力して同様に推進していく必要があります。また、今年の秋にはアジア大会、アジアパラ大会が開催されますので、愛知県は国際イノベーション都市として更に飛躍する年でもあります。

2026 年は引き続き、資源循環の推進、浄化槽の重要性の確立、安全な生活環境の確保、災害時の対応、人材の確保と育成、更に、労務費等の価格転嫁といった課題に、組合としても一層連携を深めながら、着実に取り組んで参りたいと考えております。

私ども組合員一同は「相互扶助」の精神で組合活動を基盤に

一丸となって新しい時代に対応出来るよう努めてまいります。

本日お集まりの皆様には、より一層のご協力・ご指導・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後に、ご臨席の皆様方のご繁栄とご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

どうもありがとうございます。

定刻、相木徹副理事長の開会の辞に続き、山下正裕理事長の新年挨拶がありました。



開会の辞
相木 徹 副理事長



理事長挨拶
山下 正裕 理事長



愛知県知事
大村 秀章様



自由民主党 参議院議員
藤川 政人様

ご来賓の皆様より祝辞を頂きました。

愛知県知事
自由民主党 参議院議員

大村 秀章様
藤川 政人様

その後、本日ご臨席のご来賓・関係団体の皆様をご紹介いたしました。

公明党愛知県本部副代表		新妻 秀規様
愛知県環境局 局長		武田 祥延様
同 技監		平野 淳一様
同 資源循環推進課長		関 利春様
同 環境政策部水大気環境課		
	生活環境地盤対策室長	棚橋 勝樹様
愛知県中小企業団体中央会	振興 部長	牛丸 穰様
一般社団法人愛知県浄化槽協会	専務 理事	伊藤 暢浩様
一般財団法人中部微生物研究所	代表 理事	小田 桐弘和様
同	施設検査課長	大場 博之様
愛知県浄化槽保全協会	理 事 長	松井 正範様
同	事務 局長	猿渡 伸次様
名古屋市一般廃棄物事業協同組合	副 理 事 長	浅井 明利様
同	事務 局長	比護 満様
一般社団法人愛知県産業資源循環協会	会 長	永井 良一様
同	専務 理事	小野 俊之様
同	事務 局長	中西 岳志様
同	参 与	小坂 元信様
三重県環境整備事業協同組合	理 事 長	木村 俊哉様
同	副 理 事 長	河本 泰洋様
同	青 年 部 長	村田 豊様

続いて、本日ご臨席の賛助会員の皆様をご紹介します、荒木清寛顧問の音頭により乾杯。



乾杯の音頭
顧問 荒木清寛様



閉会の辞
伊豫田淳倫 副理事長

和やかな雰囲気の中で宴席は進み、恒例のビンゴゲームで盛り上がりました。
最後は伊豫田淳倫副理事長の閉会の辞をもって終演しました。

【会場の様子】





新春を迎えて

愛知県知事 大村 秀章

あけましておめでとうございます。

新たな年が、県民の皆様にとりまして素晴らしい1年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

昨年7月、ついに、世界トップレベルのグローバルアリーナ「IG アリーナ」がグランドオープンを迎えました。

また、昨年は、「ジブリパーク」が開園から3年を、「STATION Ai」がグランドオープンから1周年を迎えたほか、テクノロジーの祭典「TechGALA Japan 2025」、愛知万博 20 周年記念事業「愛・地球博 20 祭」、3年に1度の国際芸術祭「あいち 2025」を開催するなど、国内外から多くの人々が愛知を訪れ、賑わいと笑顔に溢れた1年となりました。

「ジブリパーク」や「STATION Ai」を始め、これまで積み上げてきた愛知の力と、「IG アリーナ」など新たに加わった力を原動力として、世界と大交流しながらダイバーシティを生み出し、愛知の更なる飛躍に繋げてまいります。

さて、今年は、9月にアジア最大の平和とスポーツの祭典「第 20 回アジア競技大会」が、10 月にはアジア最大の障がい者の国際総合スポーツ大会「第5回アジアパラ競技大会」が、いよいよ開幕を迎えます。

両大会は、アジア各国・地域との交流を深めるとともに、愛知・名古屋の魅力を世界に発信する絶好の機会でもあります。

県民の皆様と一緒に、両大会を大いに盛り上げ、愛知を更に元気にしてまいりたいと思いますので、一層のご支援をよろしくお願い申し上げます。

2027 年の「アジア開発銀行年次総会」、2028 年の「技能五輪国際大会」など、今後も、愛知を元気にし、日本を元気にするビッグプロジェクトが目白押しです。

目まぐるしく変化する世界の情勢に的確に対応しながら、これらのプロジェクトを着実に進め、日本の成長を牽引してまいります。

もちろん、こうした取組とあわせ、喫緊の課題である人口減少・少子化対策を始め、社会基盤整備や農林水産業の振興、教育、女性の活躍、医療・福祉、感染症対策、環境、雇用、多文化共生、防災・交通安全、東三河地域の振興など、県民の皆様の生活と社会福祉の向上、次代の愛知を担う「人づくり」にも全力を注いでまいります。

引き続き、「日本一元気なあいち」、県民の皆様すべてが豊かさを実感できる「日本一住みやすい愛知」、すべての人が輝き、未来へ輝く「進化する愛知」の実現を目指し、全力で取り組んでまいりますので、一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

2026 年元旦



新年のごあいさつ

愛知県環境局長 武田 祥延

あけましておめでとうございます。

愛知県衛生事業協同組合の皆様方におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

また、日頃から本県の環境行政に格別の御理解を賜りますとともに、生活環境の保全と公衆衛生の向上に多大な御尽力をいただいていることに心から感謝申し上げます。

さて、本県では、循環型社会の構築に向け、資源投入量や廃棄物発生量を最小化するサーキュラーエコノミー（循環経済）への転換を促進するため、資源生産性・循環利用率を高めるとともに、脱炭素化にも繋がる取組を推進しているところです。

こうした中、廃棄物行政に関しては、大規模災害発生時に、被災者の生活支援やライフラインの復旧等の障害となり得る災害廃棄物の迅速かつ適正な処理が重要課題の一つとなっております。

貴組合とは「災害時における廃棄物の処理等に関する協定」を締結し、本県が毎年実施している災害廃棄物処理図上演習等で平時からお力添えを賜っております。本県としましても、災害の発生に備え、より実効性のある災害廃棄物処理体制の構築に向けて取り組んでまいります。

また、浄化槽行政に関しては、市町村とともに、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換促進に取り組んでいるところです。

加えて、関係機関と連携し、浄化槽管理者に対して適正な維持管理の啓発、指導を進めることで、生活排水対策の推進並びに公共用水域の水質保全に取り組んでまいります。

こうした取組を着実に進めていくためには、日頃から廃棄物処理や浄化槽清掃等に携わっておられる愛知県衛生事業協同組合の皆様の御理解と御協力が不可欠です。引き続きの御支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

新年にあたり貴組合の御発展と組合員の皆様方の御活躍を祈念いたしまして、あいさつとさせていただきます。



一般廃棄物の適正処理推進

国民の安心・衛生確保に一層の貢献

一般社団法人 日本環境保全協会
会長 山条 忠文

令和8年の年頭にあたり謹んで新春のお慶びを申し上げます。

皆様には輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年も、各地で重なる豪雨災害等自然災害、自然気候環境変化等クマの出没や廃棄物不適正処理等(リチウム電池)の火災発生など、さらには続く世界情勢の不安定化が続く物価の上昇など多くの困難を抱えるなどにより、多くの国民の生活や仕事に大きな影響を与えました。そのような中、会員各位並びに関係行政機関を始め関係団体の方々より、当協会の事業拡販にわたる格別のご理解とご支援ご協力を賜り、事業が滞りなく継続することが出来ました事を衷心より厚く御礼申し上げます。

一般廃棄物処理事業者である私共の事業は、社会や生活様式の多様性変容にあっても、常に「国民生活・国民経済の安定確保に不可欠な業務を行う事業者」と位置付けられ、安定的な業務の継続が求められていることはゆるぎのないものであります。

日本環境保全協会は、昭和36年に一般廃棄物処理業者の全国団体として設立して以来60年以上永きにわたり、私共は一般廃棄物処理業者の健全な発展へ全会員一致団結のもとに事業の推進を図ってまいりました。

さらに今日私共は、一般廃棄物の適正処理を日々如何なる時も確実に実行することを社会使命に全国津々浦々で市町村行政に積極的に協力し、ごみ・し尿・生活排水の適正処理に努め、地域の最前線で住民の安心・安全の確保に取り組んでおります。

これまで本会は数次の大災害に際し、全会員一致結束のもと被災地で刻々と排出・廃棄されるし尿・ごみ処理の復旧支援に努めてまいりました。とりわけ、近年の気候変動により多発する自然災害では被災地において団体会員・ブロック協議会は、総力を挙げてそのし尿・ごみ処理、災害廃棄物の処理支援に奮闘してまいりました。今後におきましても環境省の災害廃棄物処理支援ネットワークメンバーとして災害復旧支援体制を堅持し、大規模災害発生時には適切・迅速な救援活動を展開してまいります。

一般廃棄物処理はその公共性から、継続的かつ安定的な適正処理の確保が極めて重要であります。美しい国・日本を未来に発展継承するため、本年は9.30通知にご理解をいただき、私共は地域に根差した専門企業集団として、地域の環境の保全と地域創生に一層の貢献を果たす決意であります。

そのためにも環境への負荷の低減、資源循環・脱炭素を図るために食リサイクル事業、容器包装・プラスチック資源循環促進等、各種リサイクル事業に積極的に取り組み、明日の循環型社会の形成に努めてまいります。

また、水環境の保全では、経済的かつ効率的、そして災害に強い合併処理浄化槽の普及促進と適正な維持管理体制の整備を図ってまいります。

私どもは日本が直面する人口減少、高齢化、都市への人口集中、地方の衰退などの構造的課題と向き合い喫緊の課題も踏まえ、社会の要請にしっかりと応え、培った技術と組織力をもって資源生産性の高い循環型社会を構築していくために、環境保全事業を総合的に担う静脈産業の企業集団として事業を推進してまいります。

各位の旧に倍するご鞭撻をお願い申し上げますと共にご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、本年も引き続き感染症や大規模災害等に備えて、市町村等と連携し廃棄物の円滑かつ確実な処理を努力してまいります。最後になりましたが、会員各位並びに関係各皆様のご健勝とますますのご発展をご祈念申し上げますと共に、当協会への倍旧のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



年 頭 所 感

公益財団法人日本環境整備教育センター
理事長 由田 秀人

新年の年頭にあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては、健やかに輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、平素より当教育センターの事業推進に対し、格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

下水道システムは、地方財政の逼迫や老朽化により更新が深刻な問題となっており、特に農山漁村ではさらに問題が顕著となり、静岡県南伊豆町では、令和3年度までに漁業集落排水施設から戸別の合併処理浄化槽への転換が行われ、他にも青森県では令和5年6月に汚水処理施設整備構想を改定し、下水道区域について、将来的に真に必要な地域に絞り込む見直しが実施され、群馬県伊勢崎市や藤岡市においても、市街化調整区域は合併処理浄化槽により個別処理が財政的に有利と判断され、区域の見直しが行われました。この著しい人口減少を踏まえると、農山漁村における環境整備事業の一環として、排水処理の効率化を目的に整備されてきた下水道網の更新は財政的に不可能で、決して合理的ではありません。必ず、合併処理浄化槽への切り換えを図らなければなりません。下水道システムのまま更新すると当該自治体は財政的に破綻します。我が美しい国土・環境を維持するため、合併処理浄化槽へ作り変えるのです。

さらに、浄化槽のデジタル化・自動化を進め、維持管理の高度化やコスト削減を図ることは、新たなビジネスや国際展開の可能性を広げます。先進県だけで進むデジタル化を法改正により全国に拡大し、浄化槽を基盤とした汚水処理インフラを再構築することで、日本は世界に誇れるモデルとなり、国際的評価も一層高まると考えます。

当教育センターは、長年にわたり、浄化槽に係るさまざまな課題を認識し、微力ながらも浄化槽関係唯一の教育・研究機関として、調査研究や技術開発、浄化槽関係技術者の養成、情報発信と普及啓発、国際支援などに取り組んでまいりました。今後とも、責任ある公益財団法人として、役職員一丸となってその使命を果たしてまいります。

最後に、皆様の一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



新春のご挨拶

一般社団法人 愛知県浄化槽協会
会長 関谷 俊征

新年あけましておめでとうございます。

愛知県衛生事業協同組合の皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年は午年となり、国内に活気があふれ「馬のような躍動感ある活発さや前進する力が際立つ一年」となりますことを心から願っております。

さて、昨年を振り返ると、株式市場の盛り上がりなど日本経済の緩やかな景気回復基調が続く一方で、長引く海外の国家対立・紛争、米国の通商・関税政策の転換等の国際情勢が国内経済へ影響を及ぼし、企業経営へのリスク・不透明感を高める状況になりました。

污水处理に関して、1月の埼玉県八潮市の道路陥没事故は、被害の甚大さはもとより、インフラ施設の老朽化が我々の社会生活にいかにか深刻な事態を引き起こすかを思い知らされました。

これを機に、政府から国内インフラ全体の管理について再点検と再構築が促され、令和8年度末までの「污水处理10年概成」を目前に控えて、「従来の線」から「点で賄う」方式へ、すなわち集合処理から個別処理方式の浄化槽へ転換する「ベストミックス」が一段と推進されることとなりました。

浄化槽は、下水道と並ぶ浄化能力を有し、今後加速化する少子高齢化・人口減少社会に対しても効率的・経済的、かつ柔軟に対応できる優秀な施設であり、また頑丈で復旧の速さなどから災害への対応力もあるので、その役割への期待は、益々広がっております。

当協会は、今後も業界の発展と地域の良い水環境の保全に向け、浄化槽法定検査を始めとする事業を着実に進め、貴組合始め諸団体の皆様、関係行政機関と連携しながら、浄化槽の普及拡大と維持管理の適正化に一層努めてまいりますので、引き続きのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

結びに、貴組合の益々のご活躍とご発展を祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

令和8年元旦



新年のごあいさつ

愛知県浄化槽保全協会
理事長 松井 正範

新年あけましておめでとうございます。

愛知県衛生事業協同組合の皆様方におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また日頃は、当協会に対しまして、格別のご指導・ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

今年、愛知県浄化槽保全協会は、昭和 51 年 2 月の創立以来、50 年となる節目の年を迎えます。この間、浄化槽業界の発展に努め、浄化槽保守点検業務を通じて良好な水環境の保全に貢献できておりますことは、関係行政機関、諸団体の皆様方のご理解とご支援のおかげと心から感謝しお礼申し上げます。

昨年は、トランプ大統領の就任、日米関税交渉、イスラエルとハマスの停戦合意などいろいろとありました。日本では初の女性総理が誕生いたしました。少子高齢化、物価高、猛暑やゲリラ豪雨、熊による被害など様々な課題に直面した年でありました。

今年も昨年と同様、厳しい年になることが予想されておりますが、今年は“午年”。荒野を駆け抜ける馬のように活気があり、誰もが安心して暮らせる明るい年になってほしいと願っております。

地震や水害が多発する時代を迎え、災害に強く、早期復旧が可能な分散型システムとしての浄化槽の果たすべき役割は今後ますます大きくなっていくものと考えております。

浄化槽は保守点検・清掃・法定検査の維持管理が適正になされてこそ、その機能が発揮されるものであり、適正な維持管理は良好な水環境の保全に不可欠なものであると私共は自負しております。これからも皆様と共に力を合わせ良好な水環境・水循環の維持に努めてまいりたいと考えておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、愛知県衛生事業協同組合のますますのご発展と組合員の皆様方のご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和 8 年元旦

組合NEWS

「第二種電気工事士」国家試験対策研修会

受講コース	研修日数	受講料
●学科・技能コース	4日間	85,800円【消費税10% ¥7,800】
○科目別・学科コース	2日間	35,200円【消費税10% ¥3,200】
○科目別・技能コース	2日間	53,900円【消費税10% ¥4,900】

- ・各コース、学科・技能テキスト付
 - ・技能コースで使用する材料セット付（公表問題13問対応）
 - ・材料セットは持ち帰りできます。（自宅で公表問題の練習ができます。）
- （注）技能コースの参加者は各自で、工具セットはご持参下さい。

定員

仙台・東京・名古屋・大阪会場 50名、その他会場 40名

申込方法

- ◇同封の「受講申込書」用紙に必要事項をご記入の上、愛衛協事務局へFAXまたはメールでお送り下さい。
- ◇締切日の関係上、電話で受付もできますので必要事項をご連絡下さい。
- ◇申込受け付次第、受講証・受講確認書・請求書等を送付いたします。
- ◇申込後の受講料及び提出書類等は返却いたしません。但し、個人でのお申込をされた方は、お振り込み後8日以内はクーリングオフ制度が適用されます。

◆個人情報の取り扱いについて 受講申込書の個人情報は、研修会等に関する運営・管理上で利用するもので、目的外の第三者へ提供等はありません。

支払方法

- 受講料は前納制ですので、銀行振込、又は現金書留でご送金下さい。
 - 受講料の領収書は銀行振込みの振込書に代えさせて頂きますので、ご了承下さい。
- 尚、領収書の発行をご要望の方は、ご連絡下さい。

振込先

口座名 一般社団法人 にほんかがくぎじゅつ 日本科学技術センター

みずほ銀行	王子支店	(普) 1337977
三井住友銀行	王子支店	(普) 7374018
三菱UFJ銀行	王子駅前支店	(普) 0002542

人材開発支援助成金

制度を利用するには、あらかじめ受給資格認定を受けていることが必要です。対象となる事業主の要件、訓練給付金の受給要件、申請の手続き等に関して下記にお問い合わせ下さい

相談・申請窓口：所在地の各都道府県労働局

2026年《令和8年》上期 『名古屋会場』 日程表

◆ 「学科コース」※ノート、筆記用具をご持参ください

研修日	時間	内 容
4月17日(金)	9:30~12:00 13:00~16:30	○学科① ① 電気に関する基礎理論 ② 配電理論及び配線設計 ③ 電気機器、配線器具並びに電気工事用の材料及び工具
4月18日(土)	9:30~12:00 13:00~16:30	○学科② ④ 電気工事の施工方法 ⑤ 一般用電気工作物の検査方法 ⑥ 配線図 ⑦ 一般電気工作物の保安に関する法令

◆ 「技能コース」※ノート、筆記用具、及び作業工具は各自ご持参ください

研修日	時間	内 容
7月3日(金)	9:30~12:00 13:00~17:00	○技能① 基本作業 ・ 工具の正しい使い方(絶縁皮膜のはぎ取り方) ・ 電気回路図の要点について(単線図から複線図)
7月4日(土)	9:30~12:00 13:00~16:30	○技能② 公表問題からの実践作業 ・ 完成施工までの一貫作業 (重大欠陥の絶滅ポイントについて)

▼ 技能試験の作業工具 《ご希望の方には予約販売いたします》

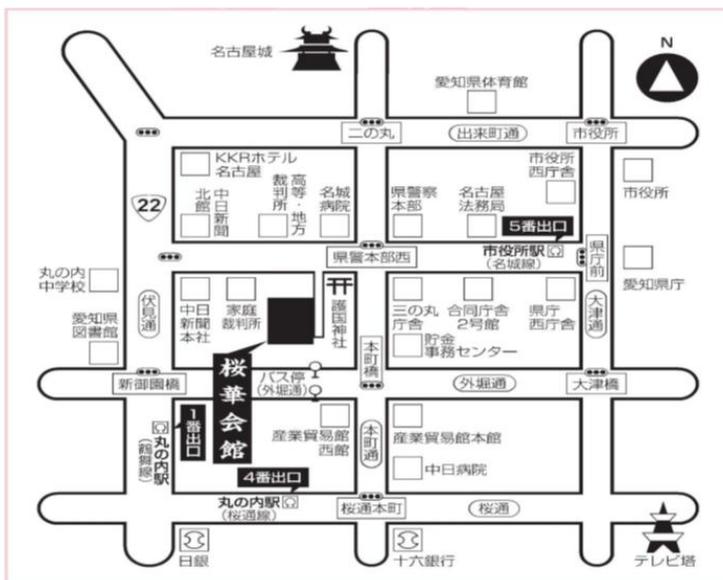
※1~6は指定工具です。 受験者は必ず試験会場へ持参しなければなりません。

1. ペンチ 2. ドライバー(プラス・マイナス) 3. ナイフ
4. スケール 5. ウォータポンププライヤ 6. リングスリーブ用圧着工具

▼ 指定工具以外の必須(作業時間短縮のための)工具 VVF(VA)線ストリッパをぜひご用意ください。

会場

桜華会館 名古屋市中区三の丸1-7-2 TEL (052)201-8076



地下鉄	名城線	名古屋城(5番出口)下車、西へ徒歩7~8分
	桜通線	丸の内(4番出口)下車、東へ直進、桜通本町を左折し、徒歩10分
	鶴舞線	丸の内(1番出口)下車、北へ直進、中日新聞社の次の筋を右折200m

「第二種電気工事士」国家試験対策研修会
2026年《令和8年》上期 『名古屋会場』 申込手順

1. 組合員

申込書
FAX・Mail

2. 愛知県衛生事業協同組合
事務局長 福永泰生

FAX 052-241-7693

Mail aieikyou@chorus.ocn.ne.jp

《研修会の申込期日：令和8年3月31日(火)までに》

一般社団法人
3. 日本科学技術センター

確認書・受講証
郵送

4. 組合員

国家試験の要領

※受験手数料（非課税） インターネット 11,100円・郵送 12,500円

※受験申込受付期間 令和8年3月16日（月）～4月6日（月）

※学科試験日 CBT方式 4月23日（木）～6月7日（日）

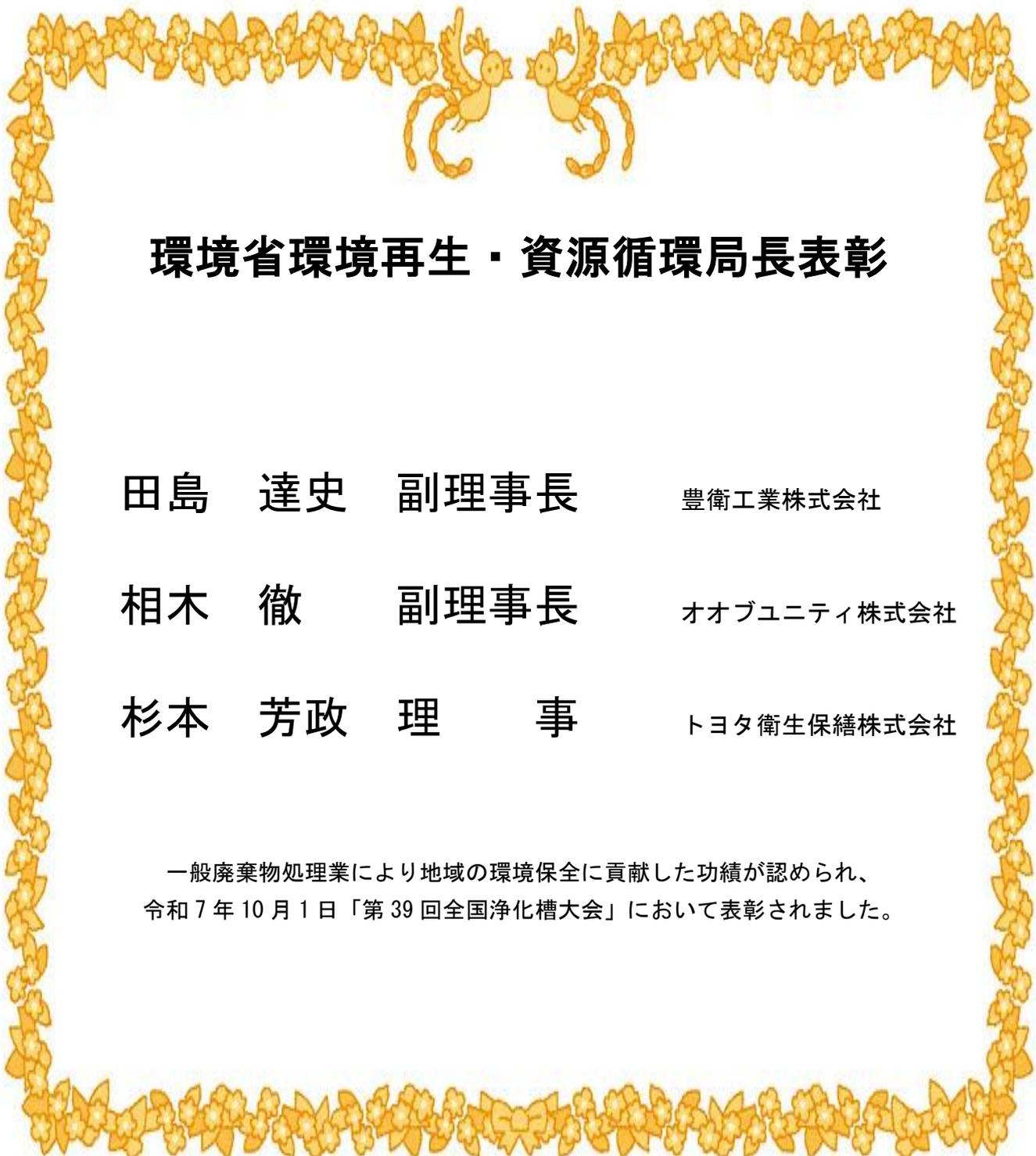
筆記方式 5月24日（日）

※技能試験日 7月18日（土）又は7月19日（日）

試験全般の問い合わせ先 （一財）電気技術者試験センター

TEL 03-3552-7691

おめでとうございます！



環境省環境再生・資源循環局長表彰

田島 達史	副理事長	豊衛工業株式会社
相木 徹	副理事長	オオブユニティ株式会社
杉本 芳政	理事	トヨタ衛生保繕株式会社

一般廃棄物処理業により地域の環境保全に貢献した功績が認められ、
令和7年10月1日「第39回全国浄化槽大会」において表彰されました。

◆ 事務局からのお知らせ ◆

第 63 回 通常総会・懇親会

日 時：2026 年 5 月 21 日（木）

場 所：名古屋東急ホテル

上記、日程で行う予定でございます。

日程・時間については変更になる場合がございます。

スケジュール調整のうえ、ご出席いただきますようお願い申し上げます。

MEMO

